

週刊 タバコの正体

Vol.8

第8巻(2007.9.5~2007.12.19)

第1話	禁煙タクシー
第2話	タバコが無くなったら
第3話	タバコの値段
第4話	外で吸ってくれてありがとう
第5話	寿命
第6話	MOTTAINAI
第7話	やるせない事実
第8話	女性とタバコ
第9話	タバコは美容の大敵
第10話	だから、だから
第11話	タバコを吸ってたら冷める
第12話	例えば、レストランで
第13話	真っ黒い鼻水
第14話	気管支の線毛
第15話	タバコら売らんといいて
第16話	未成年者喫煙禁止法

今年も、暑い暑い夏休みが終わりました。日本の最高気温の記録が塗りかえられ、40.9 になったそうです。熱中症で倒れられた方も多かったようですが、皆さんは大丈夫だったでしょうか。夏休みは終わっても“暑さ”はまだまだ終わってくれないので、冷房がない教室での授業に耐えるには、それなりの体力がいりそうです。いつかは涼しくなるはずなので、それまでお互いがんばりましょう。

では、いつものようにタバコの話を始めますが、その前に問題です。

『大分、長野、名古屋、神奈川、静岡、さてこれは何の順番でしょう？』 ヒントはタバコ

大分の人が一番タバコを吸っているのでしょうか？いいえ違います。じゃあ、喫煙率が一番低いのが大分？それも違います。

答えは、タクシー。全車禁煙タクシーとなった順番です。大分県では、どのタクシーに乗ってもタバコを吸えません。長野県、名古屋市、神奈川県、静岡でもタクシーでタバコを吸えません。君達は、タクシーを利用する機会が少ないでしょうから、「へー、そうなん」程度の感想で終わりだと思います。

しかし、喫煙者が多い日本の社会で、今まで何十年もタクシーはタバコを吸ってもイイところだったのに、いきなり全車を禁煙にするというのですから、これはかなり大変なことです。もちろん運転手も禁煙しなくてはなりませんから、タバコが手放せない運転手にとっても大変なことだと思います。

真夏の暑さのなかから、冷房の効いた涼しいタクシーの座席にすべり込むと、本当に生き返った気分になります。しかし、その車内がタバコくさいとしたら、どうでしょう。直前のお客さんがタバコを吸ってなくても、車内にしみこんだタバコの臭いはなかなかとれませんから、窓が締めきられた狭い密室に近い状態が続くのは、想像しただけでも気分が悪くなりそうです。

タクシーは、様々な人が区別なく利用できる乗り物なのですから、バスや電車と同じように禁煙が当然です。そう考えると、なぜ、最初から“禁煙タクシー”でなかったのかが不思議なくらいですね。

話しは変わりますが、5年前、学校の職員室には灰皿が堂々と置かれていました。そのころ生徒の受動喫煙を防止するため、“校内全面禁煙”を実施したのは和歌山県だけでしたが、今や40以上の都道府県が“校内全面禁煙”です。

いま、県内あるいは市内全てのタクシーを禁煙化する動きも、全国に広がっています。『タバコくさい日本』から『カラダにやさしい、きれいな日本』に変わりつつあるようです。

電子機械科 奥田恭久

日本は、『タバコくさい国』から『カラダにやさしい、きれいな国』に少しずつ変わりつつあります。このペースが進むと数年先には、タバコの販売量はかなり減るでしょう。ひょっとすると数十年後には、タバコが作られていないかもしれません。

そこで、今回は「もし、日本からタバコが無くなったら、どんな暮らしが待っているか……」を想像してみましょう。

例えば タバコが無くなれば、必要なくなる物……灰皿、ライター、喫煙所、自動販売機
 タバコが無くなれば、少なくなること……火事、ガン患者、死者
 タバコが無くなれば、なくなること……吸殻、タバコ税、タバコを吸う時間

いかがでしょう、どんな生活がイメージできますか？

建物内の喫煙所が無くなれば、そこは何に利用できるでしょう。

タバコの自動販売機は、全国に60万台もあります。それが全部無くなれば、道路や通路はかなりスッキリするでしょう。自販機が消費する電力が無くなれば、どれだけCO2の排出を抑えられるでしょう。

日本の出火原因の10%はタバコの火です。どれほどの損失をなくすことができるでしょう。どれだけの人命を救えるでしょう。

日本のガン患者数は300万人とされています。そのうち30パーセントはタバコが原因。タバコが原因の病気で亡くなる人は年間11万人、そのうちガンは6万人。

日本のタバコ消費量は年間3000億本、吸殻の長さを3cmとすると、合計の長さは地球200周分。重さにして15トン。

タバコの税収は年間約2兆円、タバコによる病気に要する治療費は3兆5千億円。

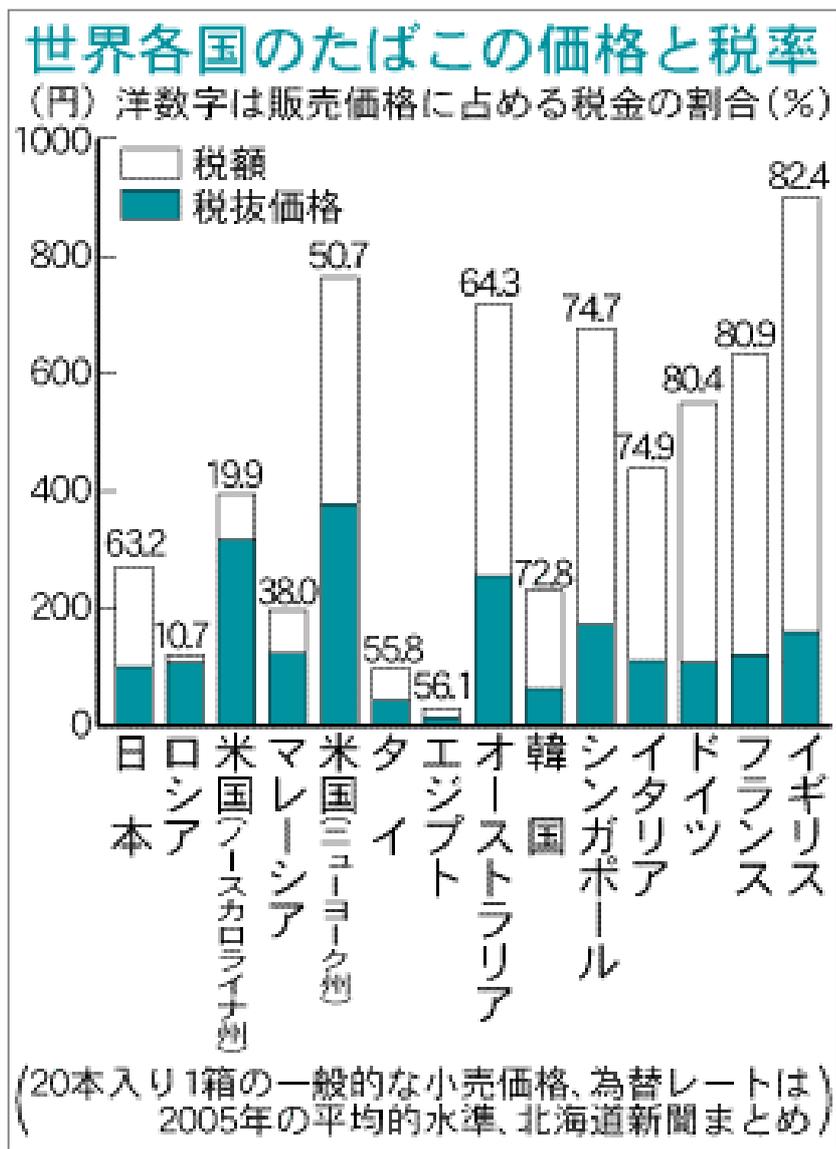
タバコを吸うために、費やしている延べ時間は、3000億本×5分=15000億分。つまり250億時間……ええっと 25,000,000,000 時間 ÷ 24 時間 ÷ 365 日 = 2,853,881 年……天文学的数字です。

電子機械科 奥田恭久

先週、『タバコが無くなれば、……』を考えてみました。ちょっと思い出してください。毎年、タバコを消費するために、ものすごく膨大なエネルギーが使われています。それなのにタバコが、そのエネルギーに匹敵するだけの恩恵を与えているとは、とうてい思えませんよね。

そして、エネルギーではありません。タバコを買うために使われる費用も膨大です。毎月20箱を50年間買い続けたとすると、 $20 \text{箱} \times 12 \text{ヶ月} \times 50 \text{年} \times 300 \text{円} = 360 \text{万円}$ です。これだけのお金があれば、何ができるでしょう。自動車一台ぐらいいは余裕で、手に入れられるでしょうね。

しかし、50年先のことまで考える人はいません。いまその一箱はたった300円で買えるのですから安いものです。……そう、日本ではたった300円なのです。たった300円だから、お気軽に子供でも買ってしまいます。だから、まだ『日本はタバコくさい国』なのかも知れません。



経済的に裕福な先進国のなかで、日本のタバコの値段が一番安いです。日本よりはるかに早くタバコが浸透した欧米では、すでに『タバコは国民の健康を害し、国家の損失につながる』という考え方が一般的で、8割もの税金をかけ、タバコの値段を高くし、タバコを吸わせないようにしています。

日本では、タバコ税を国の財政を潤すもののように扱っていますが、世界の先進国では、吸ってはいけないタバコを買った人が支払う“罰金”のような扱いです。

安いタバコは、人々のためになるでしょうか？

電子機械科 奥田恭久

学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店その他の多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙(屋内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることをいう。)を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

この文面を覚えていますか？1学期に紹介した「健康増進法」という法律の一部分です。4年前に施行されてから、学校、病院、列車、タクシー・・・と着実に浸透し、街中から、どんどん灰皿が消えています。子供やタバコを吸わない大人たちには、歓迎すべき状況が進行中なのですが、喫煙者にとっては、ちょっとしたイジメにあっているかのように映るでしょうね。

建物内は禁煙ですから、出入り口の外で、ネクタイを締めたビジネスマン風の人たちが、談笑しながらタバコを吹かしている姿をよく目にします。病院でも、白衣をきたまま門の外で喫煙している人を見かけることさえあります。こんな光景を世間の人々は、“みっともない”と評し、和歌山のおばちゃんたちは「なかで、吸わせてあげな一よ」と漏らしていました。4・5年前は大半の人がそう感じたでしょう。

しかし、上の文面を良く見てください。建物の中にいる人達にタバコを吸わせないために、“建物内禁煙”にしているのですから、密閉した喫煙所でもないかぎり、みっともないと思われても、外で吸ってもらわなければ意味がありません。

話は変わりますが、新築の家や、赤ちゃんがいる家の喫煙者は、家を汚したくなかったり、子供の健康を考えて、家の外でタバコを吸うことが多いようです。子供のことや、せっかく建てた家の事を思うと、外で吸う事は当然の行動なのかもしれません。

『一旦、ニコチン依存症になってしまうと、禁煙するのは非常に難しい。だから、最初の一本を絶対吸わないで欲しい。』と、君達には繰り返し訴えてきました。その成果は、10年以上も後でなければ分からないと思いますが、今、喫煙している大人たちは、君達のように本当の“タバコの正体”を教えてもらう機会を与えてもらっていませんでした。

だから、手ごわいニコチン依存症のせいでタバコが吸いなくなったとき、携帯灰皿持参で外へ出てタバコを吸っている大人たちを、“みっともない”なんて言うのはかわいそうです。むしろ、他人の健康を考えて“わざわざ外で吸ってくれてありがとう。”と思うべきではないでしょうか。

そして、感謝の気持ちに“あなた自身の健康のために、禁煙できるといいですね。”という励ましを添えて、優しいまなざしをかけてあげてください。できればタバコなんか止めてしまいたいと思っている人もいるはずですよ。

電子機械科 奥田恭久

「暑い・アツイ・」が口癖になっていた9月も終わり、10月を迎えました。明日からは、“秋”を代表する和工祭が始まります。どのクラスも放課後は、先生を巻き込んで、賑やかに楽しくその準備に追われているでしょう。

和工は工業高校ですから、文化祭で作るモノは、そこらの高校には負けません。だって、モノを作る道具も技術も材料も豊富に揃っていますからね。そして多分、明日の今日は、出し物を作った作業スペースは部品や道具で一杯になってしまい、片付けるのが面倒になっていることでしょう。

さて、『タバコを吸い続けることは、ゆっくり進行する自殺行為のようだ』と言われることがあります。200種類以上の有害物質と60種類以上の発ガン性物質を含んだ煙を、毎日2時間近く(5~6分×20本)吸い込むわけですから、“塵(チリ)も積もれば山になる”がごとく、ゆっくり少しずつ体内に“毒”が蓄積されてしまう様子を指した表現です。

つまり何十年か後に、肺ガンなどを発病して命を落とす場合が出てくるのですが、発病して初めて、“塵が山ほど積もってしまっている”ことを思い知らされる訳ですね。見方を変えれば、病気になるまでこのことに気がつかないとも言えます。歯の黄ばみや歯ぐきの黒ずみは目に見えても、体の中は見えませんからね。

ところで、モノづくりに携わる私達には、必要な道具や装置がいっぱいあります。使いやすいものほど、よく使うので、ちゃんと手入れをしておかないと、肝心なときに役に立たなくなることがよくあります。道具や装置にも寿命があるので、いつかは使えなくなりますが、ちょっと気を使ってコマメに掃除をし、丁寧に扱うことで、倍も3倍も長く使うことができます。

人間の寿命だって、そうだとは思いませんか？

道具は壊れれば、新しいものを手に入れることができます。しかし命は一つ。タバコを吸って、ムダに自分の体を汚し続けることは、かけがえのないものを粗末に扱っていることにならないでしょうか？

どうか、君達の綺麗で健康な体を、タバコで汚さないでください。

命は一つ、人生は一度かぎりです。

電子機械科 奥田恭久

以前、「日本のタバコは、一箱たった300円で買える」話しをしました。一本あたり、たった15円。やっぱり安いですね。でも、例えば50年間ほぼ毎日買い続けると、その費用は高級乗用車の値段に相当するぐらいの額になってしまうことも、紹介しましたね。タバコを吸わない人からみると、“もったいない”かぎりです。

さて突然ですが、日本の人口を知っていますか……約1億2800万人、では地球上には何億人が暮らしているでしょう……約66億人です。中国13億人、インド11億人、アメリカ3億人、EU諸国全体で3億8千万人。192カ国と42地域もある中で、ほんの一部の国に人口が集中しています。そしてまた、経済的に優位にある一部の国が地球を操っているかのように、豊富な資金で様々な資源を消費しています。

どの国も経済的な発展を優先するあまり、お金を儲けるために、必要以上にモノを作り、ムダに消費してしまう傾向があるようです。日本を含む先進国と呼ばれる国々は、経済発展のために、今まで地球の資源や、人の健康を、随分犠牲にしてきました。タバコの生産・販売も、そんな一翼を担ってきたのかも知れません。

しかし、そういう価値観は、少しずつ見直されています。「お金さえ儲ければ、あとのことは知ったことではない……」なんて、無責任なことをしていると、地球の命が危ないことに、気がつき始めたのです。だから、限りある資源は、Reduce Reuse Recycle しましょう。そして、地球を汚さないようにしましょう。今や、“地球に優しくしましょう”は誰でも知っているキャッチフレーズとなっていますよね。

タバコも同じです。「タバコさえ買ってくれば、あとのことは知ったことではない……」なんて、無責任なことをしていると、一人に一つしかない命がどんどん短くなっていくのは明らかです。“地球に優しく”そして、“人にも優しく”なってほしいものです。

タバコにお金を使うなんて“もったいない”。そう言えば、ノーベル平和賞を受賞した、ワンガリ・マータイさんは、日本にはReduce Reuse Recycle を一言で表現できる“MOTTAINAI”というすばらしい言葉があると、世界中に発信しています。地球に優しくするためには、自分が健康でいることが重要です。

だから、タバコを吸うのは“MOTTAINAI”。

電子機械科 奥田恭久

ようやく衣替えができそうな季節となり、気がつけば、体育大会も和工祭も終わってしまいました。そして就職先や進学先が決まった3年生のなかには、後は“卒業を待つのみ”なんて、すっかり終わってしまったような気分にいる諸君もいるのでは…

でも、現実には明日からは中間考査が始まります。1,2年生はもちろん3年生にとっても、和工で学ぶことは、まだ残っています。みんな一斉に気持ちを切り替えて、将来の自分のために和工でしか学べないことを、“今”精一杯勉強しましょう。

さて、例のごとく順番クイズです。

『和歌山県 山形県 長崎県 さて、これは何の順番でしょう。』タバコに関係が大有りの順番です。ある病気の死亡率が一番高いのが和歌山県なのですが、病名がわかりますか？…「あの病気かな？でもまさか？…」そう、タバコに関係大有りとなると、“肺がん”です。

平成18年1月1日～12月31日の期間に出された、死亡の届出に基づき厚生労働省が集計した結果、和歌山県では、669人が肺がんで亡くなっているそうです。県の人口は102万人なので、率にすると10万人に65.4人の割合です。全国平均は50.1人、一番低いのは神奈川県で40.1人でした。

しかも、平成8年からの過去11年間で、1位6回、2位2回、3位1回、4位1回、10位1回という状態です。まるで“肺がん”といえば“和歌山県”とでも言えそうなくらい不健康な記録を残しています。「そんなに、和歌山県人はタバコを吸うのか？」というと、はっきり「そう」とは言い切れませんが、タバコの影響が大きいだろうことは、誰しも想像するでしょうね。

10年以上も、こんな状態が続いていては、やっぱり和歌山県人としては、“やるせない”気持ちでいっぱいです。どうしたら、改善できるのか。どんな努力をすれば、肺がんはなくせるのか。生活環境や、生活習慣などを変えて行けばいいのでしょうか。

でも、まあとりあえず、タバコは止めるべきでしょう。ちょっとずつ、少しずつ、タバコを吸う人をなくしていけば、これからの10年で、ワースト1からベスト1になれるかも知れません。

そうなるためにも、皆さんは絶対タバコに手を出さないでください。10年後に“ア～あ やるせない”なんて言わないで済むように。

先週、和歌山県は肺がんで死ぬ人の割合が日本で一番高いということを紹介しました。タバコの吸いすぎと関係がないはずがありません。このことは、肺がんで亡くなるのは、喫煙者の多い男性が大半で、女性は少ないことから推察できます。日本は、大昔から男社会だったので、タバコに関しても、男がタバコを吸うのは当然で、「女がタバコを吸うとは、けしからん」というような風潮が一般的だったことが影響しているのでしょう。

ところが最近、若い女性、特に20歳代の喫煙率がどんどん増えているのです。仕事を持つ女性が増え、社会の価値観も“男性主導”から“男女共生”へと変化してきている現われだと考えられています。成人男性喫煙者の大半が、未成年のうちにすでにニコチン依存症になってしまっている事は、すでに皆さんに紹介しましたが、20歳代の女性喫煙者も、同じ状況なのではないでしょうか。

中学・高校時代に興味心や交友関係のなりゆきなどで、タバコに手を出してしまいニコチン依存症になってしまっている女性も少なからず居るはず。和工は工業高校なので、圧倒的に男子生徒が多いのは事実ですが、全校生徒1200人のうち150人ほどは女子生徒です。ということは、和工の女子生徒のなかにも、ニコチン依存症になってしまっているか、なりかけの女子生徒がいるかも知れないと、心配しています。

女性がタバコを吸うと、美容つまり“見た目”に多大な影響があらわれます。男性なら無頓着でいられる素肌の状態に決定的なダメージを与えてしまうのです。下の写真は双子の姉妹、20年間タバコを吸い続けた場合(左)と吸わなかった場合(右)です。とても同い年には見えませんよね。

実はこれ、タバコの影響をシミュレーションした化粧を施している写真です。「なんや〜」と思うでしょうが、おばあさんになってしまうかも知れないのに、こんな実験に協力してもらえませんからね。



「そらそやね、こんなになりたくないから、タバコやめとこ」と思いませんか。

それとも

「こんなに、なるわけない」と何十年か実験してみる気になれますか？

電子機械科 奥田恭久

『タバコは、素肌に決定的なダメージを与えます。』

でも、タバコの煙が顔全体を覆うわけでもないのに、何で……？

……では、その理由を教えてあげましょう。

その1:ニコチンの仕業

タバコの主成分であるニコチンは、血管を収縮させ、血行を悪くする。血流が悪くなると皮膚の温度が低下し新陳代謝が悪くなり、真皮の働きが衰えて、しわ、たるみ、くすみ、かさつきの原因になる。

その2:ビタミンCの破壊

タバコ1本で25~100mgものビタミンCが破壊される為、ビタミンC不足をまねく。ビタミンCには、メラニン色素が出来るのを防ぐ作用があり、不足すると、しみ・そばかすなど色素沈着をおこしやすくなる。また、ビタミンCには、肌の弾力を保つコラーゲンの生成を助ける作用があるので、不足すると肌の、ハリ・ツヤが失われ、しわも出来やすくなる。さらに、ビタミンCは、活性酸素による肌の酸化を抑える作用があるので、不足するとその抗酸化作用も失われてしまい、老化の原因になる。

その3:活性酸素の仕業

タバコを吸うと活性酸素が増え、その活性酸素は細胞内の不飽和脂肪酸と結びついて過酸化脂質(サビ)に変化する。細胞膜が酸化してサビつくと、細胞が老化して、しみ、しわなどの皮膚の老化原因になる。また活性酸素はエラスターゼ(エラスチンを分解する酵素)を活性化してエラスチン(ゴム様の弾性を示す繊維)を分解してしまうので、さらに肌のハリを失わせて、しわを作る要因ともなる。

その4:一酸化炭素の仕業

タバコを吸うと体内に一酸化炭素が取り込まれてしまい、血液中のヘモグロビンが酸素ではなく、一酸化炭素と結合してしまうことで酸素不足になる。酸素が供給されなくなると、血中の色素が奪われて、肌の色や口唇の色が悪くなる。

その5:タールの仕業

タバコに含まれる暗色のタール成分が、肌の色を悪くする。毛穴にも付着することで、黒ずみの原因となる。また、タール(ヤニ)が歯につくと歯が黄色くなり歯肉も黒ずむ。タバコ臭い口臭の原因にもなる。

その6:煙の刺激

タバコの煙の粒子は肌自体にも刺激となる上、煙が目にしみる為、顔をしかめる回数が多く、しかめている間はコラーゲンの合成が行われないので、その部位にしわが刻まれる。また口から吸い込む煙はのどと声帯を通るので、その影響でガラガラ声になる。

『タバコは美容の大敵!』サイトより

先月、2年生の皆さんに「タバコの正体」習熟度チェックをやってもらいました。今までに学んだタバコに関する知識を“おさらい”したわけですが、ついでに“タバコに関して抱いている感想”も書いてもらいましたので紹介します。

タバコは体が悪くなるっていうデメリットがあるけど、吸うと「落ち着く」「スッキリ」「イライラしなくなる」っていうメリットもあると思う。

たぶん、吸う人は、体が悪くなってもいいからスッキリしたいっていう気持ちなんちゃう？体が悪くなってもストレスたまるよりマシって思ってるんやと。だから、タバコは人の自由やと思います。

吸ってない人からみたら、そんなん吸って何がいいん？体わるくするだけやん、ってかんじかも知れやんけど、そんなメリットもあるってこと忘れるな ッ！！！！

そうですね、たいいてい人は、このストレス解消のために、体を犠牲にしてタバコを吸っています。でも、このストレスは“ニコチン切れ”が引き金になっていることを知っていますか？つまり、体内のニコチンが切れてくると必ず“イライラ”するので、タバコを吸わざるを得ない。…吸うと「スッキリ」しますが、そのうち「イライラ」して、また吸って「スッキリ」する。…最初の一本を吸わなければこの果てしないストレスと一生つきあわずに済みます。

タバコは体に悪い。わかっているけど吸う人は吸う。ごちゃごちゃ学校で言ってもしゃあないから、こんなプリント配られても迷惑、これこそ紙のむだ使い。

そうですね、「わかっているけど吸う人は吸う」のです。たぶん、“タバコは体にイイ”なんて思って吸っている人はいないでしょう。喫煙者にとっては、「やめられやんから、しゃあーなしに吸うてるんや」ってところが本音だと思います。

だから、だから…最初の一本を吸わないで ッ！！！！

電子機械科 奥田恭久

先週に引き続き、2年生の皆さんの“タバコに関して抱いている感想”を紹介します。

最近タバコを吸う人が減ってきたから、吸ってる人をみたら「この人、まだタバコら吸ってるんやー」って思う。くさいし、ダサいし、まわりに迷惑やって早く気づいてほしい。

タバコに関してのことは、小学校からずっと習ってきたので、たいていの事は知っています。悪いとか、わかっているのに吸う人の気持ちがわかりません。

タバコ、思いつくのはゴミとしてのタバコで、歩きタバコをし、吸い終わったらそのまま捨てる。駅のホームの灰皿にあふれた吸殻。車に乗りながらタバコを吸いながら窓から手を出して灰を捨てる。さらには車の灰皿を停車中に道へ捨てる。タバコには汚いイメージしかありません。タバコを吸っている人を見ると、どうしてもゴミをくわえているように見え依存しているといわれても今いちピンときません。

登校中や下校中などで、自転車に乗りながらタバコを吸っている大人の人がいる。僕はタバコの臭いが嫌いなので、そんな人の後ろで走っているのはすごくつらい。どうして、何もしてない僕が息を止めて、そんな人を抜かなければならないのだろう。もう少し人を思いやるといふ心を、タバコを吸う人は身につけてほしいと思う。

JTが売ってるのに、どうしてJTが「マナーを守ろう」的なCMを流しているのが理解不能。「マナーを守ろう」と言うなら売らなければいいのに。もしくは、一箱1000円ぐらいにするとか。それだったらタバコを吸う人が減るし、買わない人の分まで税金も集まるしね。

タバコは嫌いです。くさいし、目がしょぼしょぼするし、咳が止まらなくなるからです。友達でも吸っていい？と聞かれたら、嫌やけどしかたないな、といつも思っている。好きな人がタバコを吸ってたら冷める。

日本は、タバコ対策がなっていないと思う。

そうだね。タバコに関して、世間の大人たちより君達のほうが、ずーっと詳しいと思います。

電子機械科 奥田恭久

先週『好きな人が、タバコを吸ってたら冷める』という感想がありましたね。皆さん、どう感じましたか？もちろん、未成年がデートをしながらタバコを吸うなんてことは論外ですが、立派な大人同士のデートの場面にタバコが登場するのを、どう感じるでしょうか。

例えば、待ち合わせの喫茶店で、コーヒーカップを片手に持ち、プカプカしながら窓の外を眺めている姿は、“絵になる”でしょうか？

例えば、恋人と肩を組んだ反対の手に火のついたタバコがあるとしたら、その姿は“かっこいい”でしょうか？

例えば、レストランで相手に煙がかからないように、ひんぱんに顔をそむけてタバコを吹きだすのは“デート”でしょうか？

例えば、遊園地内で、喫煙所を探してウロウロ歩き回るのにつき合わされるのは、“楽しい”でしょうか？

例えば、きれいな景色を見ながら、ドライブ中に車内で喫煙されるのは、“快適”でしょうか？

例えば、デートするたびに、着ている服がタバコ臭くなるのは、“気にならない”でしょうか？

冷静に、その場面を想像すれば、きっと“そんなん、いやや”って感じるでしょう。でも、本当に好きになってしまったら、どれもこれも許してしまうかもしれません。それが“恋”ですから。

しかし、そんなに好きになってしまった人や、大切に思っている人なればこそ、タバコを近づけてはいけません。

だって、タバコごときに大切な人との大切な時間を邪魔されるのは、許せないと思いませんか。それに、ひょっとすると、一生いっしょに暮らすことになるかも知れない人の体を、タバコごときに台無しにされるのは、もっと許せるはずがありません。

電子機械科 奥田恭久

いよいよ寒くなってきました。それもそのはず、気がつけば来週から12月です。「寒なってきたよって、風邪ひかんよう気つけな一よ」という和歌山弁を耳にする季節になりました。風邪がはやりだすと、私達は風邪の菌がウヨウヨしているとわかっていても、外界の空気を吸わないわけにはいけないので、うがいをしたりマスクをしたりして、できるだけ菌を体に入れないように心がけます。

実は、風邪の菌に限らず私達の身のまわりには、目に見えない無数の、塵やホコリが存在しています。そして、気がつかないうちに、それらを吸い込んでいるのです。でも、だからといって病気になるわけではありません。ちょっと怖い感じがしますが、人間の体はうまくできているのです。

例えば、ヤスリがけなどの研磨作業を長時間行ったり、大掃除のときなど、通常より多くの塵やホコリを吸い込みます。作業が終わって手や顔を洗った時、無意識に鼻もかんでいませんか？汚い話ですが、かんだ鼻水が真っ黒だった。なんて経験はないでしょうか。

つまり、鼻毛と鼻水がフィルターの役目をし、汚れた空気をストレートに肺に入れないように、ガードしてくれているわけです。同じように、まつ毛と涙が目をごみから守っています。

さて、タバコの煙は塵やホコリと同じだと思うのですが、いかがでしょう。なのにタバコを鼻から吸う人なんていませんよね。せっかくのフィルターを通さず、いきなり肺に入れてしまいます。それも発ガン物質を大量に含む空気が、一気に肺に充満してしまうのですから、想像するのも“オーこわっ”って感じです。

人間の肺を満タンにすると、3 ~ 4 の空気が入ります。このなかに入ってしまったごみは、どうなるのでしょうか？ たまったごみを掃除することはできるのでしょうか…

一旦肺の奥にたまってしまった発ガン物質を鼻水のようにかみだすことは不可能です。“真っ黒い鼻水”のようなごみが永遠に肺の中に溜まって、タバコを吸うたびに増えていきます。

いや～、気持ち悪いですよね。もし自分の肺の中がこんなになってしまうとしたら…背筋が凍る思いです。

電子機械科 奥田恭久

前回、人間の体はうまく出来ている例を紹介しました。鼻毛と鼻水がフィルターとなって、空気中のゴミをキャッチしてくれるのですが、じつはこのフィルター機能は完璧ではありません。それに激しい運動をした時などは、口から呼吸をすることのほうが多いですよ。だから、体内に直接小さなゴミが入ってしまうこともあるので、そうなっても大丈夫なように、肺に空気を届ける“気管支”という管に、ある仕掛けがあるのです。

“線毛”と呼ばれるものすごく小さく細い毛が気管支の中にあり、これが海藻のように動いて異物を粘液に絡めて、口や鼻に向けて運び出してくれています。ほんと、人間の体ってうまくできています。(図と写真)

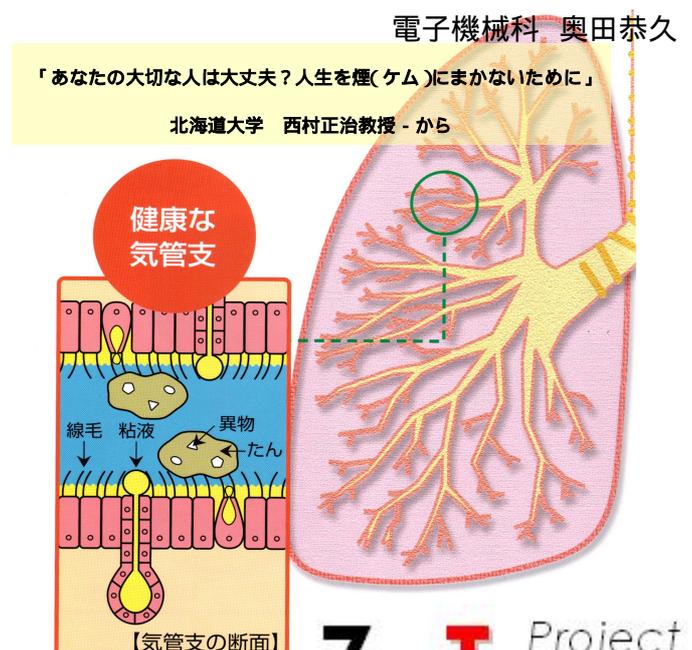
「なんや、じゃー、タバコを吸っても大丈夫なんちゃうん」と思うかもしれませんがね。しかし、タバコの煙には“ホルムアルデヒド¹、アクロレイン、シアン化水素²”などという毒性が強い物質が含まれていて、これが線毛の運動を麻痺させてしまうそうです。

つまり、タバコを吸うと線毛が動かなくなるのです。そうすると、肺をゴミから守る大事な安全装置がなくなるのと同じですから、肺にはどんどんゴミが溜まってしまいます。それに、線毛自体がはがれ落ちてしまうことがあるので気管支炎をおこします。すると、しょっちゅう咳や痰に悩まされる、なんてことになるわけです。

知ってましたか？こんな事実。知ってしまえば「タバコら、やめとこ」って思うよね。



人間の気管支の線毛 東京女子医大 滝沢敬夫教授の写真より



¹ この物質が多い家が“シックハウス”と呼ばれる。

² タバコには、シアン化水素が環境衛生基準の60倍も含まれる。

「もう、ホンマ、タバコら売らんといてほしいなあ」

最近、ある喫煙者がため息まじりにつぶやいた言葉です。できることならタバコは止めたい。しかしやめられない。そこにタバコが売られていて、いつでも手に入るから……

皆さんの感想のなかにも「体に悪いのやったら、売らんかったらええやん。そしたらタバコを吸う人はなくなるやん」というのがありました。

そうなんよね。人間にとって「百害あって、一利なし」の麻薬のような毒物が、日本じゅうで60万台もの自動販売機を使って売られているのは、おかしいですよ。

ところが、日本には次のような“法律”があるのです。昭和59年(1984年)にできた「たばこ事業法」がそれです。ちょっと読んでみてください。

第1条 この法律は、たばこ専売制度の廃止に伴い、製造たばこに係る租税が財政収入において占める地位等にかんがみ、製造たばこの原料用としての国内産の葉たばこの生産及び買入れ並びに製造たばこの製造及び販売の事業等に関し所要の調整を行うことにより、**我が国たばこ産業の健全な発展を図り、もつて財政収入の安定的確保及び国民経済の健全な発展に資することを目的とする。**

国民の健康のことなど一切触れず、“たばこ産業の発展”と“国民経済の発展”を目的にしています。どう思いますか。「財源のためには、私達の体はどうなってもいいのか」って言いたくなりませんか。

「日本のタバコ対策はなってないと思う」という感想を書いてくれた2年生がいましたが、まったくその通りだと思います。

先進国である日本に、私達の健康を犠牲にしてまで経済を潤さなければならないほど、お金が必要なのでしょうか。

電子機械科 奥田恭久

「taspo(タスポ)」って知ってますか？

「あっ、知ってる知ってる。大人にしかタバコを売らん自動販売機のことやる、
そうです。」

そう聞くと、まるで自販機が、ボタンを押そうとしている人を見て、自動で判断するのか？と思いますよね。「へー、どうやって見分けるんやる？」

じつは、タバコ自販機専用のカード(taspo カード)を事前に発行してもらった大人だけがボタンを押せる、という仕組みです。つまり、カードがなければ、自販機でタバコが買えなくなるわけです。来年から全国に60万台近くある自販機が、順次 taspo に切り替わるそうです。

未成年者の喫煙防止対策として、タバコの販売団体³が取り組み始めたのですが、これは「未成年者喫煙禁止法」という法律(下記:抜粋)があるからです。

第一条 満二十年に至らざる者は煙草を喫することを得ず

第二条 前条に違反したる者あるときは行政の処分を以って喫煙の為に所持する
煙草及び器具を没収す

第三条 未成年者に対して親権を行う者情を知りて其の喫煙を制止せざるときは
科料に処す (科料の金額が削除された)

二 親権を行う者に代わりて未成年者を監督する者亦前項に依りて処断す

第五条 満二十年に至らざる者に其の自用に供するものなることを知りて煙草又
は器具を販売したる者は五十万円以下の罰金に処す

いかにも古めかしい文面ですよ。それもそのはず、明治33年(1900年)にできた法律です。100年以上も前に、「親は子どもの喫煙を制止しなければ、お金をとるぞ」とか「未成年者とわかっていて、そして本人が吸うのを知っていて、タバコを売ると50万円以下の罰金」などと、謳っています。

この法律は、現在でもちゃんと効力を持っています。しかし、現在のタバコの販売実態を見ていると、「こんな古い法律、使われていないんじゃない?」、なんて思ってしまいますよね。

売上げ最優先の自販機から、君達や子どもの将来を思いやる自販機へ。“taspo”に期待したいものです。

³ 社団法人日本たばこ協会、全国たばこ販売協同組合連合会、日本自動販売機工業会が主体となっている。